

平成25年度 事業報告書

平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 多摩胃ろうネットワーク

1 事業の成果

I. 平成25年度は、平成21年度ユビキタスタウン構想推進事業の「地域連携パスIT化による多職種参加の地域連携推進事業」の最終年度として事業を継続し、隣接の八王子・西多摩地域にも参加施設を拡大して事業展開した。

[地域連携パスIT化システムの運用実績評価(運用開始から平成26年3月までの約5カ年間)]

① システム運用実績における患者への有用性について

地域連携パス運用数;登録患者数は217・胃ろう造設パス64件 交換パス670件の登録がされた

*約3年前に認知症患者の胃ろう増設が問題提起された。当時のPEGサミットでの意見交換はNPO法人のホームページ上に掲載した。以降認知症患者への胃ろう増設は激減している。そのためか、新規の胃ろう増設パスのシステムへのアップはここ3年ない。しかしながら、この事業開始1年後からPEGトラブルは激減し、PEG交換患者の評価スケールがほとんど0～2の範囲と良好であった。また事業開始1年後から経口摂取できる患者が出現しており、このような患者の多くは脳卒中後の胃ろう造設のケースであり、栄養管理が十分にできたことによるリハビリテーションの成果としてPEGから離脱でき、経口摂取が可能となったと考えられるものである。このことは胃ろう造設の有用性について今後の方向を示唆する結果が得られたと考えられる。

経口摂取に関しては、患者との身近なかかわりの中で、経口摂取できるようになった患者については表情が、豊かになった印象があるとの報告があり、家族からも顔つきが引き締まったと言われるようになるなど口から食べることで無表情な患者に表情をもたらすことができるようになったことで患者のQOL向上に寄与したと考えられる。今後の取り組みが必要な領域と考えられる。

② 画像の送受信による専門医の評価及び意見交換は、法人内での活用になったが、トラブル時及び造設後の評価や相談が専門医と施設の間で可能となったことにより、リアルタイムでの評価が可能となり、且つ定期的な再診・評価が不要となった

II、胃ろうの管理に関する事業「在宅胃ろう交換」;平成24年度より多摩胃ろうネットワークでも一部の医師によりペグスコープを用いた往診による在宅での胃ろう交換の試行を開始した。現在3医師が参加し年間交換件数327件(33+102+192)である。この試みは、安全安楽に在宅での胃ろう交換が可能となり、交換のため医療機関を受診するという本人の身体的・時間的負担及び介護者・家族の人的負担や移動費用、及び医療機関のマnpowerなど多くの負担軽減につながる。今後全国的な普及を目指し、在宅胃ろう交換のプロトコル作成など先行実施している他地域との連絡や交換施設の見学など取り組みを開始したところである。

III、胃ろうの管理に関する実技セミナーの開催により、NPO参加施設や関連地域からの胃ろうに関するトラブル報告は皆無に近い状況が続いている。

一般市民にも対象を広げた市民公開講座を開催しエリア内に胃ろうの知識とケア能力の向上、摂食栄養管理の質の向上を図った。

IV、摂食嚥下班会議は、今年度からスタートした。「嚥下評価から経口摂取まで」患者及び家族の地域での支援体制の基盤構築を目指し約3カ月毎に参加登録メンバーが集まり勉強会・意見交換の話し合いをもった。ホームページ担当者からの相談に基づき、この班会議において新たに「ホームページ活用による情報共有と在宅チームの連絡支援を目指した」スマートホンのアプリケーション開発の協議も開始した。

V、「地域連携パス会議」においては関係者間での情報交換や賛助会員からの新しい栄養剤等の情報提供や意見交換及び相談窓口への相談内容の共有の場となり会員間の連携強化となっている。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
胃ろう造設と管理に関する事業	胃ろうの基礎知識と造設(手技)交換並びに術前術後の管理レベルアップ	第12回 多摩胃ろうネットワーク市民公開講座「嚥下と食事介助のポイントについて」 2013年9月28日(土) 実技セミナー「胃ろうについて」～経管栄養の技術とケアについて～ 日時2013年9月28日(土)	午前 多摩市立関戸公民館8階大会議室 午後から 同会場	6人 8人	一般市民 ケアマネジャー 介護職 看護師 栄養士 薬剤師 言語聴覚士 歯科衛生士 40名 6名	0
	在宅高齢者の胃ろうの管理知識と技術の普及と啓発	在宅高齢者の胃瘻に関する研究会「胃瘻カテーテルの管理について」 2時間講演 8月24日	中原休日急患診療所	1人	在宅医 30名	0
	他地域との情報交換	群馬県利根沼田地区胃ろう連携会議において講演会と意見交換 9月19日木曜日	利根中央病院	2人	医師 看護師 ケアマネジャー 介護職 その他関係者 50名	0
摂食嚥下に関する事業	摂食嚥下評価に関するセミナー開催により経口摂取に関する知識と技術の普及 啓発	市民公開講座 講師：戸原 玄先生 (東京医科歯科大学) 准教授：嚥下内視鏡の座学と実演 平成26年2月22日土曜日	オリンパスホール八王子 リハーサル室	6	医師 歯科医師 介護職 看護師 歯科衛生士 その他関係者 一般市民も含む 40名	0
		嚥下内視鏡 (VE) ハンズオンセミナー「嚥下内視鏡の基礎と実際の手技」 講師 鶴岡協立リハビリテーション病院 福村直毅先生 平成25年11月2日(土)	多摩市関戸公民館8階	6人	医師 歯科医師 介護職 看護師 歯科衛生士 その他関係者 一般市民も含む 40名	0

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)
栄養剤メーカーのサ ンプリングやニーズ 調査受託	摂食嚥下障害や胃ろう造設に伴い栄養剤が 症状に応じて注入されているが、下痢や便 秘など商品の改良・改善策など共同開発の	摂食嚥下班会議 において 約3ヵ月毎	新天本病院会議 室	10人	0
広告事業（ホームペ ージに管理スペース 提供など）	開設するポータルサイトに管理ページを設 けメーカーに貸与　メーカーが持 つ商品情報や栄養管理データなどの情報提 供及びPR	随時	HPサイト内	3人	0
高齢者の現状を理 解し共通認識図る	「老いを思う」連載開始	随時	HPサイト内	1人	0